

2013年6月期

# 第1四半期累計期間 決算補助資料

2012/11/6



# 目次

1. 1Qの業績について	.....	3
2. 事業別状況	.....	11
3. 通期業績予想について	.....	15
4. (参考)TOPICS	.....	20

## 【本資料についてのご注意】

- ・ 本資料の記載金額は原則、百万円未満を切り捨てて表示しております。
- ・ 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
- ・ 本資料に記載されている会社名、システム名、製品名は、一般に株式会社構造計画研究所ならびに各社の商標または登録商標です。

# 1

## 1Qの業績について



# 1 Q 決算の概要

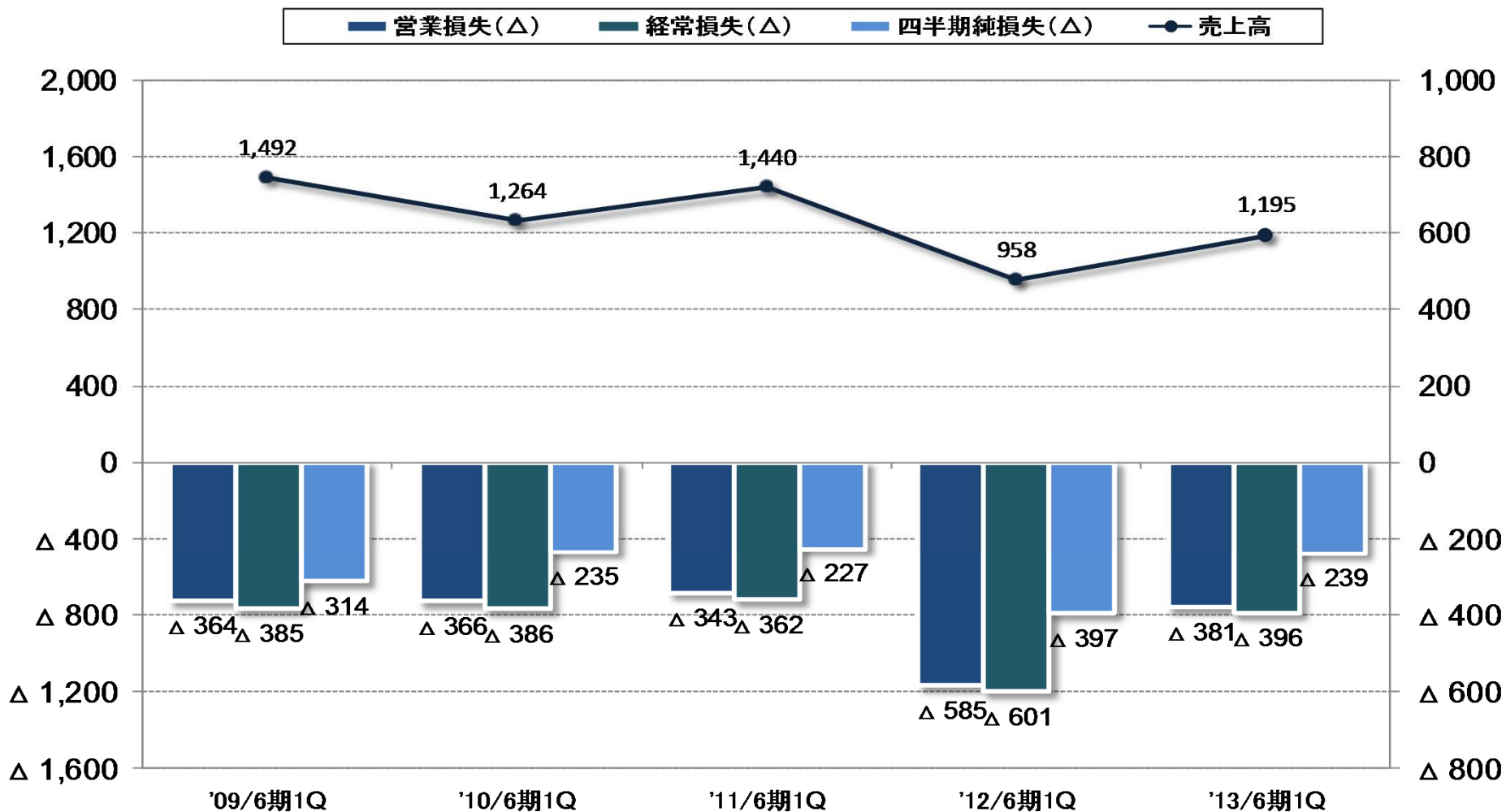
(単位:百万円)

	① '11/6期 1Q	② '12/6期 1Q	③ '13/6期 1Q	③-② 対前年同期 増減額 (増減率)	④ '13/6期 通期計画	③/④ 通期計画に 占める割合
売上高	1,440	958	1,195	237 (24.7%)	9,000	13.3%
営業損失(△) 営業利益	△ 343	△585	△381	204 (-)	750	-
経常損失(△) 経常利益	△ 362	△601	△396	205 (-)	670	-
四半期純損失(△) 当期純利益	△ 227	△397	△239	158 (-)	360	-



# 1 Q決算の概要

売上高(単位:百万円)



利益(単位:百万円)

⇒ 当社では、多くの顧客が決算期を迎える3月末から6月末にかけて、成果品の引き渡しが集まることから第1四半期累計期間に占める売上高の割合は極めて低い水準となる傾向があります。当第1四半期累計期間の純損失は、かかる季節変動による影響であります。

# 損益計算書ハイライト

(単位:百万円)

	'12/6期 1Q	'13/6期 1Q	対前年同期 増減額
売上高	958	1,195	237
売上原価	889	766	△122
売上総利益	68	428	359
販売費及び一般管理費	654	810	155
営業損失(△)	△585	△381	204
営業外損益	△16	△15	0
経常損失(△)	△601	△396	205
特別損益	△59	0	59
税引前四半期純損失(△)	△661	△396	264
法人税等	△263	△157	106
四半期純損失(△)	△397	△239	158

## <売上高>

エンジニアリングコンサルティングビジネスの拡大による事業領域・顧客層の拡大に努めた結果、売上高は11億95百万円となりました。なお、当社では、多くの顧客が決算期を迎える3月末から6月末にかけて、成果品の引き渡しが集まることから、第1四半期累計期間に占める売上高の割合は極めて低い水準となる傾向があります。

## <売上原価>

品質管理のより一層の向上と不良プロジェクトの未然防止などにより、強固な収益構造の構築に努めております。

## <販売管理費>

業務の内製化により販売費及び一般管理費の適正化に努めております。

# 貸借対照表ハイライト

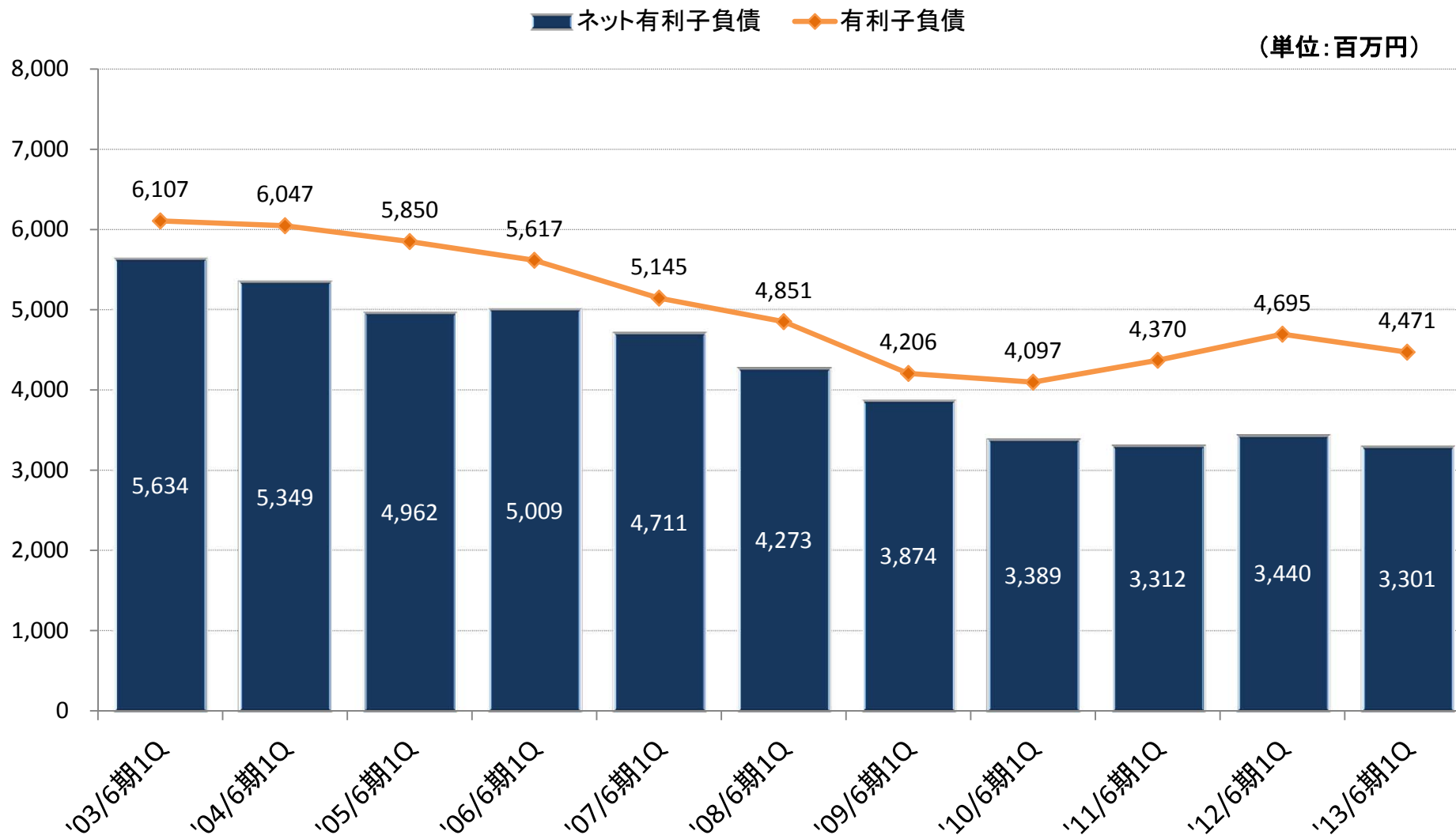
(単位:百万円)

	'12/6期末	'13/6期 1Q	増減額
<b>流動資産合計</b>	2,594	3,705	1,111
現金・預金	551	1,170	619
売上債権	1,060	1,053	△7
<b>固定資産合計</b>	6,802	6,784	△18
有形固定資産	5,648	5,624	△23
投資その他の資産	768	790	22
<b>資産合計</b>	9,396	10,489	1,093

	'12/6期末	'13/6期 1Q	増減額
<b>負債合計</b>	5,615	7,080	1,465
<b>流動負債</b>	3,515	4,899	1,384
短期借入金 <sup>※</sup>	2,425	3,622	1,197
<b>固定負債</b>	2,100	2,180	80
長期借入金	785	848	63
<b>純資産合計</b>	3,780	3,408	△371
<b>負債・純資産合計</b>	9,396	10,489	1,093

※ 「1年内返済予定の長期借入金」は短期借入金に含めて計算しております。

# (参考) ネット有利子負債の推移





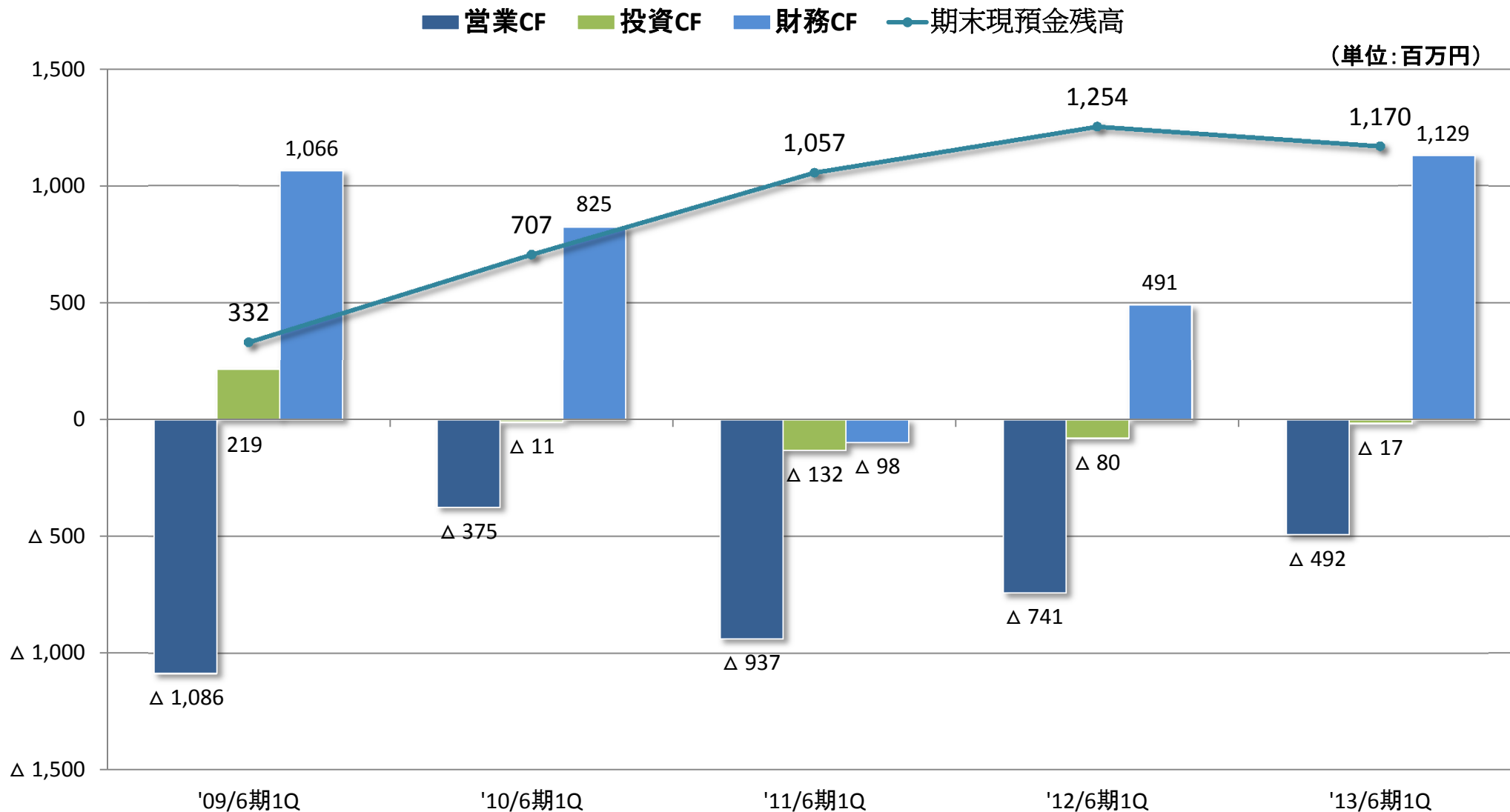
## (参考) キャッシュ・フロー計算書ハイライト

(単位:百万円)

	'12/6期 1Q	'13/6期 1Q
期首現預金残高	1,584	551
営業活動CF	△741	△492
投資活動CF	△80	△17
フリー・キャッシュ・フロー	△821	△509
財務活動CF	491	1,129
期末現預金残高	1,254	1,170

【主な内訳】	
営業CF(△492百万円)	
・税引前四半期純損失	△396百万円
・賞与引当金の増加額	111百万円
・売上債権の減少額	175百万円
・たな卸資産の増加額	△309百万円
投資CF(△17百万円)	
・有形固定資産の取得	△2百万円
・無形固定資産の取得	△8百万円
財務CF(1,129百万円)	
・短期借入金の純増	1,300百万円
・配当金の支払い	△81百万円

# (参考) 過去5年間のキャッシュ・フローの推移



# 2

## 事業別状況

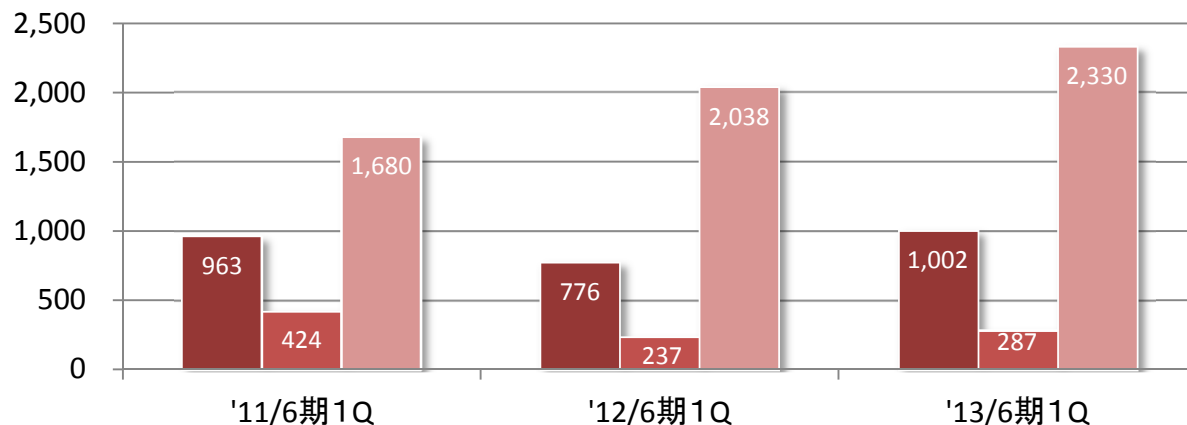


# 事業①エンジニアリングコンサルティング

(単位:百万円)

	'11/6期1Q	'12/6期1Q	'13/6期1Q	対前年同期 増減率
受注高	963	776	1,002	29.1%
売上高	424	237	287	21.3%
売上総利益 (利益率)	109 (25.8%)	△31 (△13.5%)	120 (41.8%)	—
セグメント利益 (利益率)	△20 (△4.8%)	△194 (△81.9%)	△108 (△37.7%)	—
受注残高	1,680	2,038	2,330	14.3%

■ 1Q受注高 ■ 1Q売上高 ■ 1Q受注残高



- ◆ 防災・耐震・環境評価解析コンサル
- ◆ 建築物の構造設計
- ◆ ソフトウェア開発の要求定義・基本検討
- ◆ 製造・物流系シミュレーション
- ◆ マーケティングコンサル、リスク分析
- ◆ マルチエージェントシミュレーション

## 業績分析

- 防災関連のコンサルティング業務に加え、物流及びファシリティマネジメントのコンサルティング業務が堅調に推移

## 事業②システムソリューション

(単位:百万円)

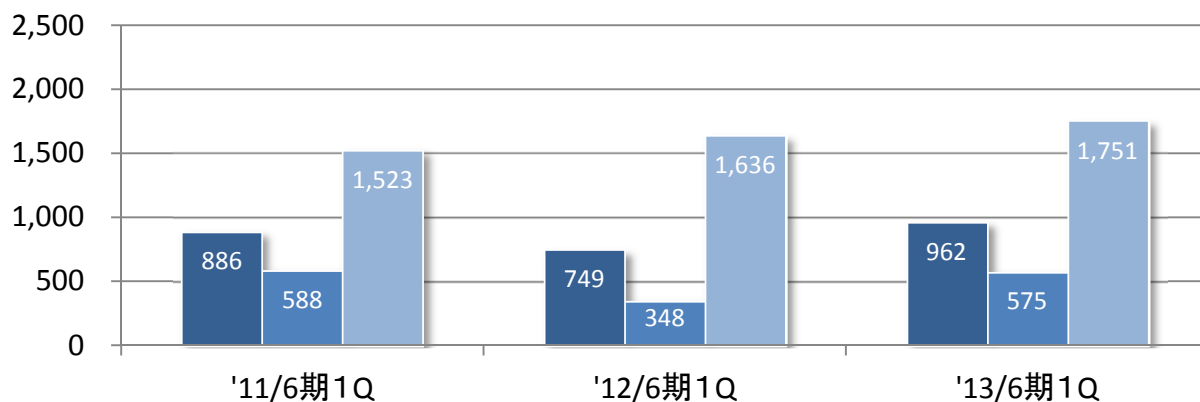
	'11/6期1Q	'12/6期1Q	'13/6期1Q	対前年同期 増減率
受注高	886	749	962	28.3%
売上高	588	348	575	65.1%
売上総利益 (利益率)	24 (4.2%)	△4 (△1.4%)	204 (35.6%)	—
セグメント利益 (利益率)	△84 (△14.4%)	△141 (△40.5%)	7 (1.3%)	—
受注残高	1,523	1,636	1,751	7.0%

- ◆ 構造設計支援システム
- ◆ 移動通信・モバイル・ネットワーク通信システム
- ◆ 交通関連ソリューションシステム
- ◆ マルチメディアソリューションシステム
- ◆ 製造業向け営業・設計支援システム

### 業績分析

- 住宅設備メーカー向けシステム、大手通信事業者向けシステム、大手住宅メーカー向け構造計算システム、製造業向け生産管理システムなどの開発業務が好調に推移

■ 1Q受注高 ■ 1Q売上高 ■ 1Q受注残高



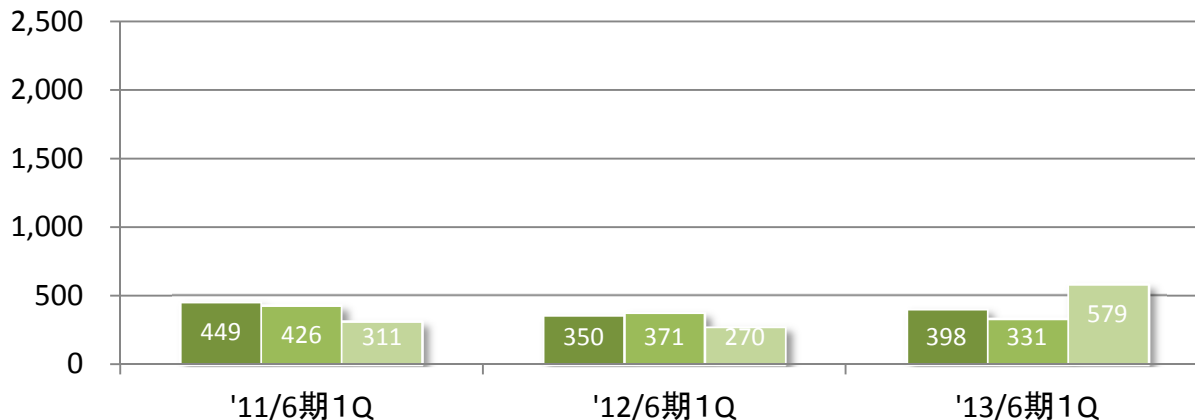


# 事業③プロダクツサービス

(単位:百万円)

	'11/6期1Q	'12/6期1Q	'13/6期1Q	対前年同期 増減率
受注高	449	350	398	13.6%
売上高	426	371	331	△10.9%
売上総利益 (利益率)	198 (46.5%)	105 (28.4%)	103 (31.3%)	△2.1%
セグメント利益 (利益率)	117 (27.5%)	63 (17.2%)	29 (8.8%)	△54.1%
受注残高	311	270	579	113.9%

■ 1Q受注高 ■ 1Q売上高 ■ 1Q受注残高



- ◆ 建設系構造解析・耐震検討ソフト
- ◆ ネットワークシミュレーションソフト
- ◆ 電波伝搬・電磁波解析ソフト
- ◆ 製造系設計者向けCAEソフト
- ◆ マーケティング・意思決定支援ソフト
- ◆ 統計解析ソフト、画像認識ソフト
- ◆ コンサルティング、トレーニング

## 業績分析

- 品質管理ソフトや津波解析シミュレータの販売が比較的堅調に推移
- 製造業向けCAEソフトや構造設計支援ソフトの販売が伸び悩み

# 3

## 通期業績予想について

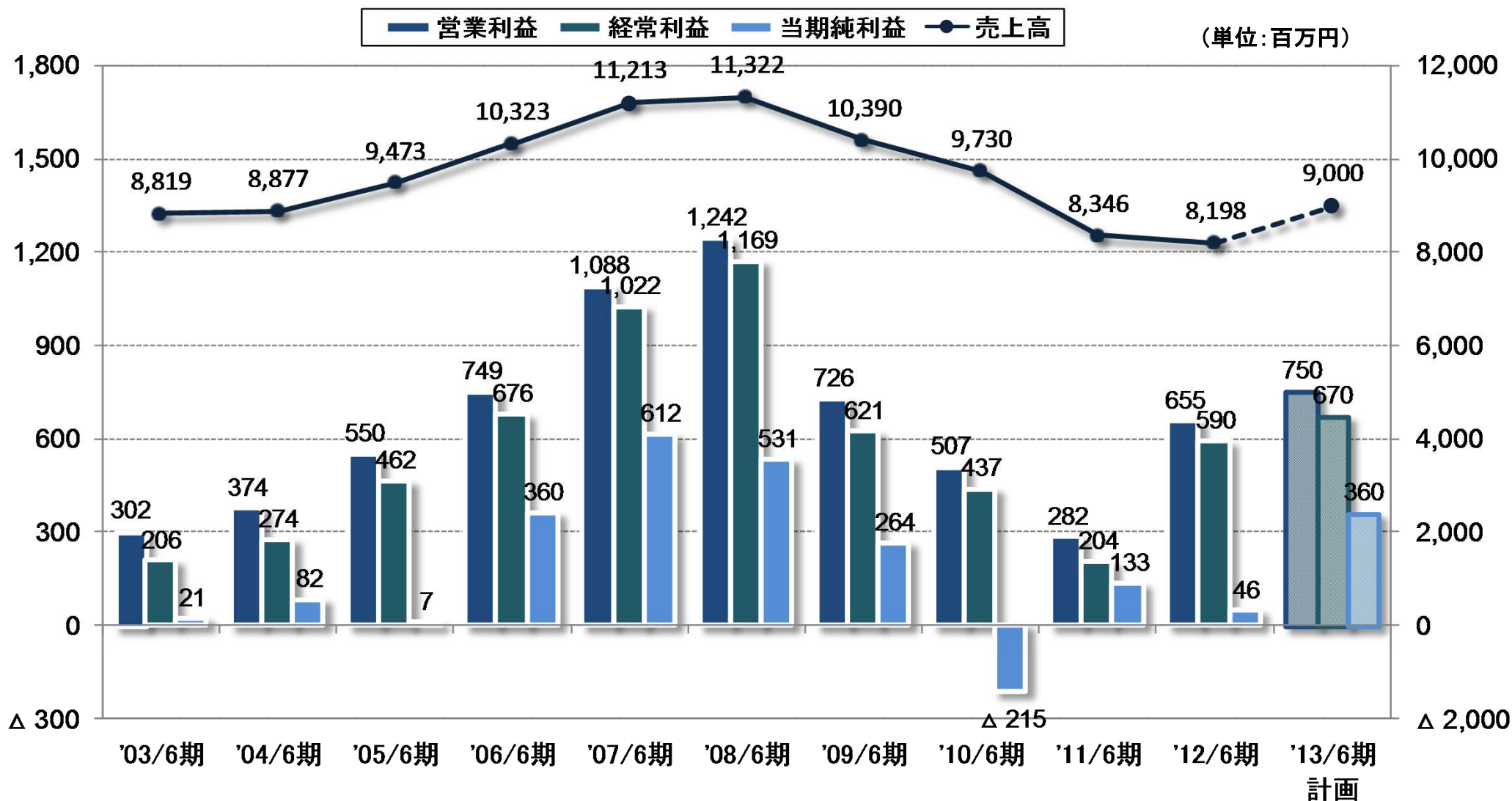


# 2013年6月期計画

(単位:百万円)

	' 12/6期	' 13/6期計画	対前期 増減額	対前期 増減率
売上高	8,198	9,000	801	9.8%
エンジニアリング コンサルティング	3,677	4,000	322	8.8%
システム ソリューション	2,737	3,000	262	9.6%
プロダクツ サービス	1,784	2,000	215	12.1%
営業利益	655	750	94	14.4%
経常利益	590	670	79	13.5%
当期純利益	46	360	313	679.9%
配当金	@14円/株	@20円/株		

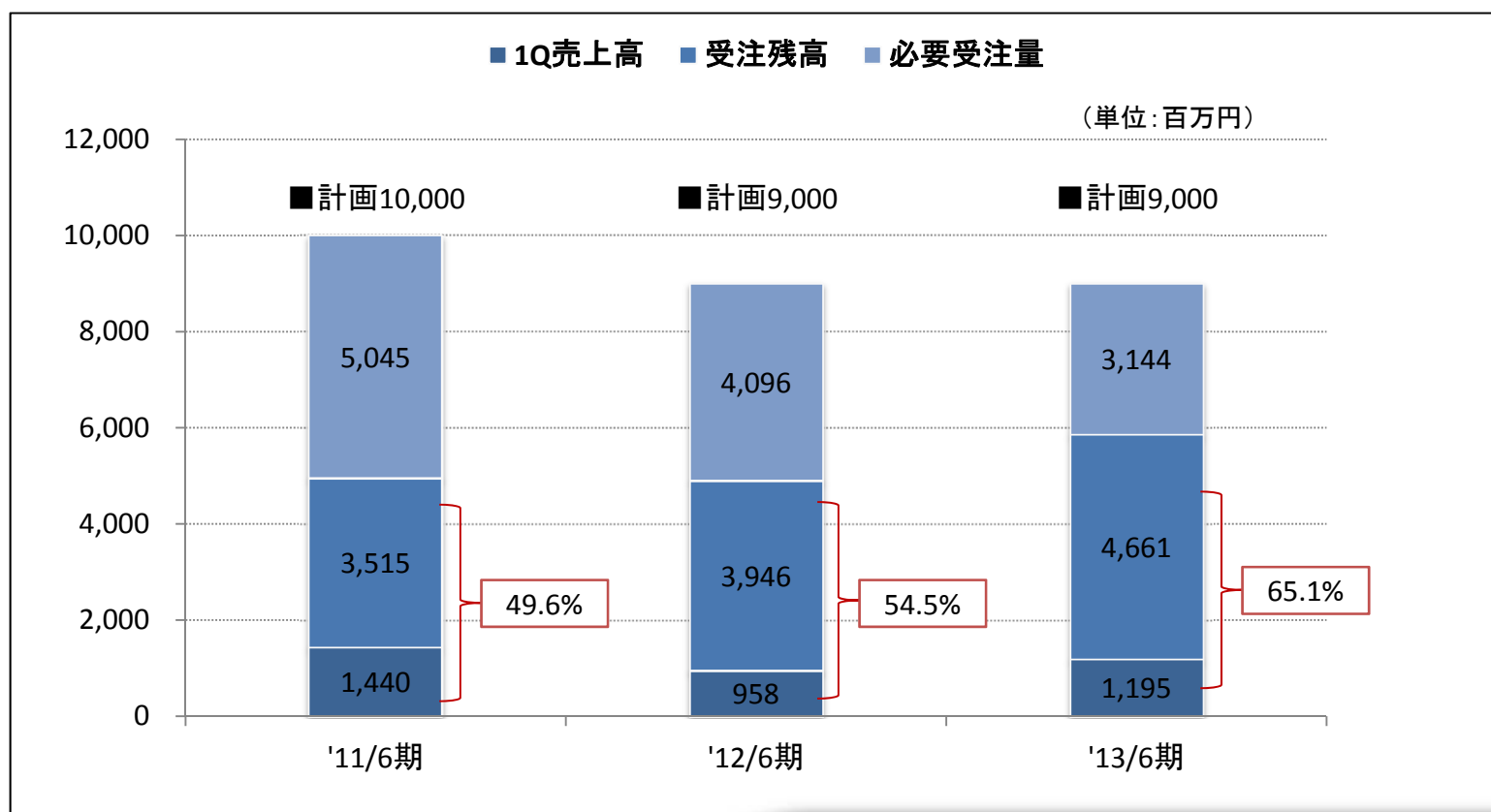
# 過去の業績推移と業績予想



# 1Qの経営成績

## 当第1四半期累計期間の経営成績

- 通期予想に占める1Q時点の売上高+受注残高の割合は65.1%、前期比10.6ポイントの改善
  - '11/6期 通期予想 10,000百万円、1Q実績 4,955百万円(49.6%)
  - '12/6期 通期予想 9,000百万円、1Q実績 4,904百万円(54.5%)
  - '13/6期 通期予想 9,000百万円、1Q実績 5,856百万円(65.1%)
- 季節変動により純損失を計上するも、損失額は前年に比べ減少

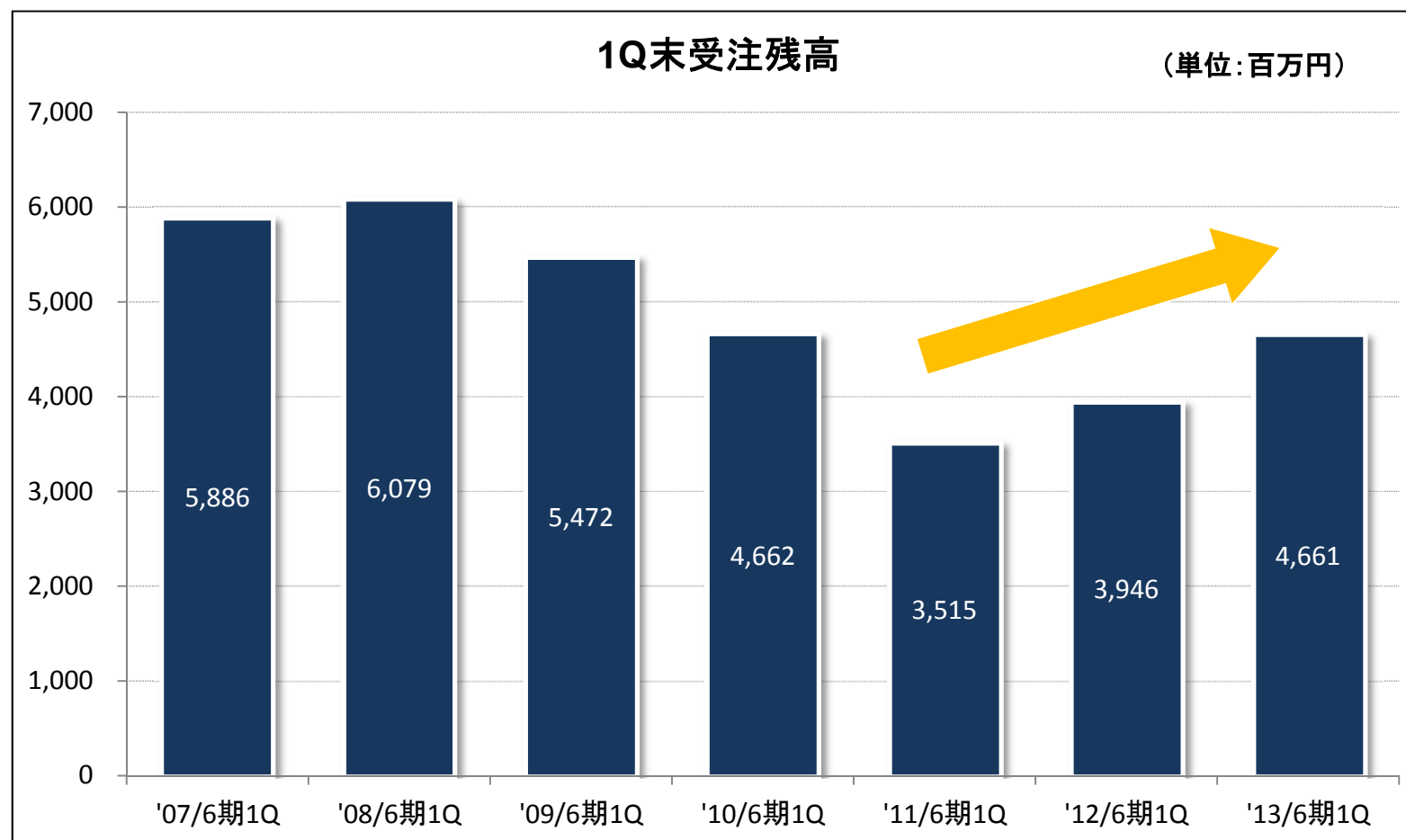




# 通期業績見通しについて

## 通期業績見通し

- 1Q末の受注残高は4,661百万円となり、一昨年、昨年度を上回る水準で推移
- 計画通りに推移しており、8月13日発表の業績予想値に変更なし



# 4

## (参考) TOPICS



## 構造計画研究所 KOZO KEIKAKU ENGINEERING Inc.

地震動伝搬解析  
津波解析  
浸水予測  
液状化解析  
土砂災害の影響検討

災害リスクマネジメント  
設備の被害想定と対策  
避難・復旧対策  
インフラ施設の予防保全  
etc.

## Prometech Software HIGH PERFORMANCE SIMULATION & COMPUTER GRAPHICS

粒子法(※)CAEソフトウェア「Particleworks」の開発・販売  
製造業、原子力産業向けのCAE解析技術の提供  
映像制作向けミドルウェアの提供



## 戦略的な取り組み強化

- 建設・防災分野において、高い付加価値のコンサルティング・サービスの提供
- 海外市場への展開や、両社技術者の交流によるソフトウェアの高性能化

※粒子法は日本発の、世界で通用する、ものづくりソフトウェアとして注目を集めている期待の技術です。従来の手法では困難とされていた液体のシミュレーションを計算・可視化する革新的な手法として、製造業を中心に、その認知と利用が急速に広がりつつあります。この技術の応用範囲は幅広く、医療、建設、映像制作などでの利用も期待されています。

## KKE Vision2012 -エンジニアリングにときめく-

### ■開催結果

日 時:2012年10月24日～26日

会 場:ヒルトン東京

参 加:約1,340名

### ■講演内容(一部抜粋)

【スタートアップ・セッション(一日目)】  
ビジネスモデル・イノベーションにときめく  
～真の知恵が問われる時代の戦略・イノベ-  
ション・リーダーシップ～

野中 郁次郎氏(一橋大学 名誉教授)  
モデレータ  
徳岡 晃一郎氏(フライシュマン・ヒラード・ジャパン パート  
ナー・SVP、多摩大学 大学院 教授)

【基調講演(二日目)】  
良いものづくり現場と日本に残すためのITとは

藤本 隆宏氏(東京大学 大学院 経済学研究科 教  
授、東京大学ものづくり経営研究センター長)

【基調講演(三日目)】  
スマートシティと未来生活  
～仮想世界と現実世界の融合に向けて～

安田 豊氏(株式会社KDDI研究所 代表取締役会長)



# お問い合わせ先

## 【業績予想に関する注意事項】

本資料に記載されている業績予想等は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は経済情勢等様々な不確定要因によりこれらの予想数値と異なる場合があります。

## 【お問い合わせ先】

株式会社 構造計画研究所  
法務部(担当:小山、松本)

T E L : 03-5342-1141

F A X : 03-5342-1241

E-MAIL : [ir@kke.co.jp](mailto:ir@kke.co.jp)

H. P. : <http://www.kke.co.jp>